

○ 2次審査時質疑回答書

	質問	回答
101	<p>駐車場について、ゾーン B1 及び B2 に整備する駐車場は施設来客用であり、役場及び学び発表の場の職員用駐車場については、ゾーン B3 及び D を使用すると考えてよろしいでしょうか。また、子育ての場の駐車場についても同様な考え方でよろしいでしょうか。</p>	<p>職員用駐車スペースは、エリア C・Dを想定しております。来客用駐車スペースは、B1・B2・B3・D※を想定しております。（※Dは職員車両を駐車して余ったスペースを来客用にも使用します）</p> <p>ただし、合理的かつ機能的な駐車スペースの提案により、上記想定以外の配置となってもかまいません。</p>
102	<p>エネルギーセンターから供給される温水について、供給期間(○月○日～○月○日など)、供給時間(○時○分～○時○分など)などの計画をご教示ください。また、供給単価(○円/MJ など)の計画値をご教示ください。</p>	<p>現在の想定は、通年・24 時間温水が供給される予定です。また供給単価は、未定です。</p>
103	<p>配付資料 05 に記載のエネルギーセンターからの温水供給温度は、村庁舎敷地において 80℃が保証されると考えてよろしいでしょうか。また、村庁舎等からの温水の還り温度は、55℃以上となっても構わないのでしょうか。</p>	<p>供給温度は、70度が保障されます。</p> <p>戻り温度は、40度を想定ください。</p>
104	<p>配付資料 05 では、給湯および暖房用の熱交換器が記載されていますが、熱交換器の能力および2次側の温度条件等は、村庁舎等の設計の段階で協議できるものと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>二次側の温度条件等は、設計段階で協議可能です。</p>
105	<p>万一のエネルギーセンターでのトラブルに備えて、村庁舎等側で、バックアップ用の熱源を設置する必要があるのでしょうか。</p>	<p>地域熱側で供給するのは、暖房・温水です。</p> <p>冷房は行いません。</p> <p>地域熱供給センター施設でのバックアップは行われますが、配管等のバックアップは行わ</p>

		<p>れません。</p> <p>バックアップは必要と考えています。</p>
106	<p>西栗倉小学校と中学校の通学は「徒歩／自転車／通学バス／その他」のいずれか、また、徒歩／自転車の場合の通学路はどのようになっているかお教えてください。</p>	<p>小学校は、学校近隣は徒歩、遠方はスクールバスでの送迎を行っています。</p> <p>中学校は、学校近隣は徒歩、遠方は自転車を使用して通学しています。</p> <p>当該計画地エリアに関する通学路としては、現状、エリアB東側の国道沿の歩道を徒歩で利用しています</p>
107	<p>地域熱供給施設となるエネルギーセンターは、子育て支援施設と同時期に竣工すると考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>平成 30 年 3 月に竣工予定です。</p>
108	<p>公用車車庫が、普通車 10 台で 400 m²とありますが、駐車スペースのみならば 120～150 m²程度と思われそうですが、その他の面積の想定内訳(倉庫、車路等)をお教えてください。また、普通車 10 台の種類や大きさをお教えてください。</p>	<p>公用車庫 10 台分は、施錠できるシャッター付屋内ガレージ 250 m²程度(冬用タイヤ等の整備道具備品庫含)および150 m²程度の屋根付き作業スペース(雪のシーズン屋外で作業ができる庇(屋根下面積 150 m²)を想定ください。</p> <p>普通車 10 台は、普通乗用車(ex. トヨタプリウス同等) 10 台を想定してください。</p>
109	<p>庁舎で働かれる職員の駐車場がどこを想定されているかお教えてください。</p>	<p>エリア C、Dを想定しております。</p>
110	<p>子育て支援施設での木材供給において、構造材、造作材、仕上材などの村産材の割合をお教えてください。また、間伐材のみを用いたのか、皆伐も行ったのかもお教えてください。</p>	<p>H29 年度に工事が行われる子育て支援施設で使用されるスギヒノキを使った製材数量は、概数で以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造材 130m³(すべて構造用製材) ・外部造作材 18m³ ・内部造作材 12m³ ・下地材 13m³ <p>現在工事に必要な木材調達が進められているところですので目標値ですが以下の割合が想定値です。</p>

		<p>A:村内産原木の使用率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造材 90% ・外部造作材 80% ・内部造作材 80% ・下地材 80% <p>B:村内製造施設による出来高比率(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造材 60% ・外部造作材 100% ・内部造作材 100% ・下地材 100% <p>原木の調達では、間伐・抜伐・皆伐を組み合わせて調達を進めています。</p>
111	村内の大工、工務店の数をお教えてください。	<p>建設業登録事業者数 6社</p> <p>大工職人数 14人</p> <p>工務店なし</p>
112	現状の村で供給している構造材、造作材、仕上材、板材の生産量など、現況・実績について、別添した「木材供給体制及び能力についての質疑」を元に可能な範囲でお教えてください。	<p>添付資料 01・添付資料 02 をご参照ください。 (記入可能な内容に編集しております)</p>
113	庁舎議場の竣工よりも先に、学び発表の場を平成 31 年度 10 月頃に使用開始するという認識で宜しいでしょうか。	<p>学び発表の場は、移転後スムーズに使用開始できる工程計画と移転時期の設定が望ましいと考えます。</p> <p>仮使用申請等、十分な検討がなされれば、移転時期について制限はありません。</p>
114	既存の役場庁舎周辺や駐車場において、除雪はどのようにされているでしょうか。また、その頻度はどの程度でしょうか。	<p>村では、除雪車16台を所有しており、村内各所に配置しています。</p> <p>現行、役場周辺は小型特殊ローダー等を中心に除雪を行っています。</p> <p>平成 28 年度は、年間 26 日の除雪稼働があり</p>

		ました。除雪頻度は年ごとの降雪状況により異なります。
115	ヒアリングに参加が可能な「実施体制計画書に記載した当該業務担当者のうち、岡山県およびその隣接県の一級建築士事務所に所属する者を必ず含む、最大3名まで」は、参加申請者、設計チーム構成員に業務担当技術者経歴書(提出様式 04)を提出した者を加えた中から3名以内と考えて良いでしょうか。	二次審査ヒアリングに参加できるのは、提出様式 01 に記載の3名以内といたします。
116	1 次審査書類(提出様式 01)「プロポーザル参加表明書」に記載のある参加申請者や構成員以外(協力事務所の業務担当技術者)も、ヒアリング審査の参加者として出席は可能ですか?	二次審査ヒアリングに参加できるのは、提出様式 01 に記載の3名以内といたします。
117	パソコン操作やパネル搬出入のため、事務所スタッフ 1~2 名のヒアリング会場への入室は可能ですか?	二次審査会場に入室できるのは、提出様式 01 に記載の3名以内といたします。
118	○村議会について、 ・年間村議会の開催日数(定例)を教えてください。 ・年間村議会の開催日数(臨時)を教えてください。 ・議会参加者人数(傍聴席を除く)を教えてください。	議場を使う定例議会日数は、6~8日です 臨時議会日数は、約3日を想定してください。 議会議員8名 行政担当者は、村長以下9名 その他 傍聴スペース10名程度を 想定してください。
119	敷地内を流れている水路について 平常時の水量はどの程度ですか? 常時流れていますか?	平常時は水路 W=上部 100cm・底部 40cm、H120cmに、水深 5cm の水が常時流れていると想定してください
120	既設建物解体撤去工事後の敷地の高低差について ・既存の外構は撤去されて、敷地の高低差は現状のままという理解で良いでしょうか。	既設建物の撤去は、外構含む整地(現状高低差維持)を想定しております。 提案を求める施設計画に必要な部分的な造成工事もしくは全体的な造成工事に関しては、その必要性・合理性・経済性をご提示の上、工期や工事費についても言及ください。
121	学び発表の場で行われるイベントについて	一次審査質疑回答で示している、【02 配布資

	て、想定されているものがあれば教えてください。	料 08-あわくら会館概要】をご参照ください。
122	来客用駐車場 35 台は、庁舎・議場と学び・発表の場の共用として 1 箇所に整備するということでしょうか。施設ごとに駐車スペースを分ける提案は可能でしょうか。	ゾーン B1・B2 全体で合計 35 台分のスペースを確保するとご理解ください。必要に応じて分割していただいてもかまいません。

以上